

第33回 お茶の水女子大学日本語文化学研究会プログラム

2006年12月2日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時～2時45分

「JET 青年を対象とした日本語教師養成コースの設計と実施」

阿部洋子、長坂水晶(国際交流基金日本語国際センター)

「共生日本語教育の実習生は内省レポートをどのように体験しているのか? : グラウンデッド・セオリー・アプローチによるモデル化」

陳明淑・遠藤宏子・蘇位静・持田ひろ子・村中雅子・田川麻央・寺下裕久美(お茶の水女子大学大学院生)
西條剛央(日本学術振興会研究員)

「批判的振り返りによる教師の能力開発の試み: 生涯学習の観点から」

池田広子(立教大学)・朱桂榮(北京日本学研究中心)

「大学生に期待される日本語能力とその養成手法: 先行実践の分類をもとに」

大島弥生(東京海洋大学)

「上級日本語学習者を対象とした発音指導に関する一考察: イントネーションに焦点を置いたテキスト開発」

中川千恵子(早稲田大学)・中村則子(慶応義塾大学)

「学部・大学院留学生の日本語学習における自己評価の変容: PAC 分析による事例的研究」

八若壽美子(茨城大学)

「中学校における言語少数派生徒に対する学習支援の試み: 『教科・母語・日本語相互育成学習モデル』を枠組みとして」

清田淳子(お茶の水女子大学)・佐藤真紀・穆紅・宇津木奈美子(お茶の水女子大学大学院生)
楊峻(北京語言大学外国語学院)・朱桂榮(北京日本学研究中心)

◎研究発表 午後3時～5時10分

<第1分科会> 司会: 向山陽子

「自律学習を基盤とした日本語学習において教師が注目する諸側面: 実践報告の分析から」

三宅若菜(桜美林大学)

「インプット重視の指導法が日本語習得に果たす役割: 『精読』授業での実践を通して」

王文賢(政策研究大学院大学大学院生)

「JFL環境における中国人学習者を対象とするピア・レスポンスの有効性」

劉娜(お茶の水女子大学大学院生)

<第2分科会> 司会: 内田安伊子

「地域の日本語教室においてNNS ボランティアは何を実現しているか」

金井淑子(お茶の水女子大学大学院修了生)

「『地域の日本語教室』に『漢字』は必要か: あるボランティアの事例から」

福島育子(帝京平成大学) 濱川祐紀代(桜美林大学)

「外国人の語りに見られる参加の軌跡: 在日外国人の学びのネットワーク」

森下雅子(早稲田大学)

<第3分科会> 司会: 金孝卿

「提案とその応答はいつ出現するのか: ビジネス・ミーティングにおける韓日対照」

李志暎(新大久保語学院)

「新聞社説における『主張のストラテジー』に関する韓日対照」

李貞旻(東京学芸大学)

「日本語学習者の文章プロダクト研究における課題: 読み手との相互交渉という観点から」

田代ひとみ(東京外国語大学)

<第4分科会> 司会: 古市由美子

「実習生の共生日本語教育イメージの変容: 比喩生成課題による検討」

清水寿子(お茶の水女子大学大学院生)

「対話的問題提起学習における母語話者参加者の共生意識の変容: PAC 分析による事例研究」

半原芳子(海外技術者研修協会横浜研修センター)

「共生を目指す対話をどう築くか: ある地域日本語教室の事例から」

野々口ちとせ(お茶の水女子大学)

◆ 第33回日本語文化学研究会運営協力者(敬称略)

張瑜珊、岩井朝乃、滑川恵理子、朴志仙、小田珠玉、峯布由紀、白以然、橋本ゆかり、王沖、李惠淑、魚秀禎、金真伊、佐野香織、徳田恵、高橋薫、谷内美智子、孫愛維、唐澤麻里、船戸はるな、趙英梅、岡嶋裕子、陳雪萍、村中雅子、蘇位静、洪玉苓、松尾麻里、遠藤宏子、陳明淑、黄怡君、朴貞玉、田川麻央、寺下裕久美、韓燕、劉欣雲、瀧脇万寿子